

果 樹

果樹病害虫防除対策推進事項

- (1) 主要病害虫の防除に当たっては、発生予察に基づく適期・適切な防除を進めるとともに、耕種的防除技術や、耐病性品種の活用、天敵の利用などの技術を総合化した防除体系を推進する。
- (2) 密植園の間伐・老齢樹の更新や、施肥、排水などの適正な肥培管理を行って、健全な樹勢の保持に努め、園内の通風、採光を良くし、枯枝、罹病枝の除去など環境整備を行い、カンキツ黒点病・落葉果樹胴枯病など多くの重要病害の発生を防止するなど、栽培の基本技術の徹底を図る。
- (3) 防風対策、雨よけ技術の導入など環境改善を推進し、病害の抑制を図る。
- (4) 種苗の導入に当たってはウイルス病類、根頭がんしゅ病など、難防除病害の移入が問題となっているので、十分留意のうえ優良種苗の確保を図る。
- (5) 有力な天敵の導入や既存天敵の保護を推進し、防除効率の向上と防除経費の低減を図る。
- (6) カンキツ灰色かび病、ナシ黒星病、黒斑病などにおける薬剤耐性菌や薬剤抵抗性ハダニ、アブラムシが問題となっているので、同一成分、類似系統の薬剤の連用を避け、合理的な防除体系によってそれらの発現防止を図る。